Wood SoundBar
取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全上のご注意

本製品は安全に配慮して製造されていますが、誤った使い方をすると、死亡、重傷、傷害などの人身事故、また物的損害を引き起こす原因となり大変危険です。ご使用の前には「安全上のご注意」を必ずお読みになり、記載事項を守って安全に正しくご使用ください。

■故障したら使用しないでください。
本製品が正しく動作せず、「こんなときには」の内容をお読みになり対処しても問題が解消されない場合は、ただちにお客様相談室にご連絡ください。
■万一、異常が発生したときは・・・
本製品が異常に発熱したり、異臭、異音、煙が発生したときは、ただちに使用を中止してください。その後はご使用にならず、お客様相談室にご連絡ください。

使用している表示と絵記号
警告表示、注意表示の意味は次の通りです。

表示	意味
⚠ 警告	この表示の項目を守らないと、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
⚠ 注意	この表示の項目を守らないと、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を表示しています。

絵記号の意味は次の通りです。

絵記号	意味
禁止	この絵記号は禁止行為の説明を表示しています。
指示	この絵記号は必ず実行していただきたい行為の説明を表示しています。

⚠ 警告

本製品を絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。
火災、感電、やけど、故障の原因になります。分解、修理、改造を行った場合は、故障時の保証対象外となります。

本製品の内部に異物を入れないでください。
水などの液体や金属片などの異物を入れると、火災、感電、故障の原因になります。液体や異物が内部に入ってしまった場合は、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

本製品から煙が出たり、異臭、異音などの異常を感じたりしたら、すぐに使用を中止してください。
そのまま継続して使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

本製品を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。
衝撃を加えてしまった場合は、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま継続して使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

本製品を濡らしたり、水蒸気や水がかかるような場所で使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。浴室やシャワー室では使用しないでください。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

本製品の近くに水などの入った容器を置かないでください。
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など液体の入った容器を置かないでください。こぼれたり、内部に液体が入ると、火災・感電の原因になります。

本製品の放熱をさまたげない場所に設置してください。
他の機器、壁等から間隔をとって設置してください。ラックなどに入れる場合はすき間を空け、通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。

電源コードを傷つけないでください。
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードや電源プラグが傷んだ状態(芯線の露出、断線、変形など)で使用すると、火災・感電の原因になります。

雷が鳴り出したら、本体やケーブル類に触れないでください。
感電の原因になります。

表示された電源・電圧(交流100ボルト)以外で使用しないでください。
表示された電源・電圧以外で使用すると、火災・感電の原因になります。本製品を使用できるのは日本国内のみです。

電源プラグの清掃を定期的に行ってください。
電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因になります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電・故障の原因になります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災の原因になります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントは使用しないでください。

電源プラグは抜きやすい位置にあるコンセントに差し込んでください。
万一の場合に備えて、電源プラグはよく見えて容易に引き抜ける位置にあるコンセントに接続してください。

電源コードの上に重い物を載せたり、本製品の下敷きにしたりしないでください。
コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。

電池が液漏れしたときは、素手で触らないでください。
液が目に入ると失明の原因になることがあります。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で十分に洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。液がからだや衣服についたときも皮膚の炎症やけがの原因になることがあります。異常が現れたときは、ただちに医師の診察を受けてください。

本書で指定している以外の電池を使用しないでください。
火災やけがの原因になることがあります。

病院内や航空機の中などでは使用しないでください。
電波が特定の医療機器や航空機の計器類などに影響を及ぼし誤作動による事故の原因になります。

⚠ 警告

心臓ペースメーカーを装着しているときは、本機を使用しないでください。
電波がペースメーカーに影響を与え、誤作動の原因になります。

他の機器に電波障害などの影響が発生したときは、使用を中止してください。
ラジオやテレビの近くで使用するとノイズを与えることがあります。また近くにモーターなどの装置があると、誤作動による事故の原因になります。

⚠ 注意

本製品を不安定な場所に置かないでください。
ぐらついた台の上や傾いた場所、振動する場所に置かないでください。落下したり転倒したりして、けがの原因になることがあります。

高温、多湿、ほこりの多い場所に置かないでください。
窓際や車中など直射日光のあたる場所、ストーブのような暖房器具の近くなど高温になる場所、調理台や加湿器の近くなど油煙や湿気のあたる場所、またほこりの多い場所に放置すると火災・感電の原因になることがあります。

音が歪んだ状態で長時間使用しないでください。
スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

機器に接続するときは、機器の音量設定を最小にしてください。
始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

同梱品以外の電源コードは使用しないでください。
火災・感電の原因になることがあります。また、本製品の電源コードを他の機器に使用することもおやめください。

お手入れをするとき、長期間使用しないときは、電源をはずしてください。
安全のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。電池を取り付けている場合は電池を抜いてください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

移動させるときは、電源プラグや接続したコードをはずしてください。
コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。また、接続機器が落下したり転倒したりして、けがの原因になることがあります。

ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置してください。
スピーカーの磁気により色むらが発生することがあります。

梱包袋は安全な場所に保管してください。
製品を梱包していた袋は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因になります。

電池の+(プラス)と-(マイナス)の向きを正しくセットしてください。
正しくセットしないと、発熱、火災、感電の原因になることがあります。

電池を乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤って飲み込む恐れがあります。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

電池を加熱・分解したり、火や水の中に投下しないでください。
破裂や液漏れにより、火災・けがの原因になります。また周囲を汚損する原因になります。

電池の+(プラス)と-(マイナス)をショートさせなでください。
コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、発熱、破裂、液漏れにより、火災・けがの原因になります。また周囲を汚損する原因になります。

電池の異常に気づいたら使用を中止してください。
液漏れ、変色、変形、その他今までと異なることに気づいたらすぐに使用を中止してください。そのまま使い続けると、電池が発熱・破裂する恐れがあります。

コイン電池を廃棄するときは、絶縁処理をしてください。
他の金属片等と一緒に廃棄すると、ショートして発熱・破裂の原因になることがあります。絶縁テープを貼るなどして、自治体の指示に従って廃棄してください。

電波に関するご注意

● 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、本機に以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
・分解/改造すること
・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
● 本機は2.4GHzの周波数帯の電波を使用します。2.4GHz帯の電波は、他の無線機器も使用しています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意してご使用ください。

本機の使用する周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要するもの)、特定小電力無線局(免許を要しないもの)およびアマチュア無線局(免許を要するもの)が運用されています。
・本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
・万一、本機から他の無線局に対して電波干渉が発生した場合は、速やかに使用を中止してお客様相談室にご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例などが発生した場合などは、お客様相談室までご連絡ください。

● 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
● 次の場所では電波干渉により、ノイズや音切れが発生する可能性があります。
・2.4GHz帯を使用する電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、Bluetooth機器の周囲
・アンテナ入力端子を持つAV機器の周囲
本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
一部の国では、Bluetooth機能対応機器の使用が制限されている場合があります。Bluetooth対応機器の使用については、お住まいの各自治体にお問い合わせください。

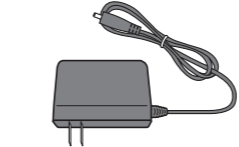
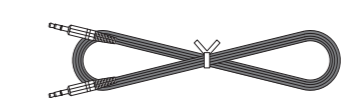
2.4 FH 4

同梱品

ご使用になる前に以下の同梱品が揃っているか確認してください。

□ 本体 … 1台

□ リモコン … 1個
お買い上げ時はコイン電池が入っています。

□ ACアダプター
(コード長:1.5m)… 1個

□ オーディオケーブル
(コード長:1.5m)… 1本

□ RCA変換ケーブル
(コード長:10cm)… 1本

□ 取扱説明書(本紙)

お手入れ

● 本製品を良好な状態に保つために、定期的にお手入れをしてください。
● お手入れをするときは乾いた布で拭いてください。

こんなときには

状態	対処方法
電源が入らない。	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。
リモコンで操作できない。	● 絶縁シートがついたままの可能性があります。絶縁シートを引き抜いてください。 ● 本体とリモコンの間に障害物がある、または、距離が遠すぎる可能性があります。本体とリモコンの距離を近づけて、リモコン受光部に向けて操作してください。 ● 電池が消耗している可能性があります。新しい電池と交換してください。
音が出ない。	● 本体およびテレビの音量が最小になっていないか、または、消音状態でないか確認してください。 ● 本体とテレビが正しく接続されているか確認してください。ご使用のテレビに付属の取扱説明書もあわせてご覧いただき設定を確認してください。
Bluetooth音が途切れる。ノイズが多い。	● 周辺で他の2.4GHz帯の機器が使用されていないか確認してください。 ● 本体とBluetooth対応機器の距離が遠すぎる可能性があります。本体とBluetooth対応機器の距離を近づけてください。 ● ペアリングが切れている可能性があります。再度ペアリング操作をしてください。

もしもリモコンがみあたらないときは.....
● Bluetoothモードからテレビ音声入力に切り換える
コンセントからACアダプターを抜いて、再度差し込んでください。テレビ音声入力に切り換えることができます。サウンドモードはStandardになります。
● テレビ音声入力からBluetoothモードに切り換える
本体背面のAUX-BTボタンを押してください。ペアリング待機の状態になります。

それでも問題が解決しない場合は、お客様相談室にご連絡ください。

お問い合わせは **お客様相談室** まで
0120-81-0544
www.tdk-media.jp

主な仕様

総合

電源 ……………… ACアダプター(DC 12V/2A)
入力 ……………… LINE IN(3.5mmステレオミニジャック)
消費電力 ……………… 10W(スタンバイモード時の消費電力 1W)
本体寸法 ……………… 約830(幅) X 60(高さ) X 85(奥行き)mm
本体質量 ……………… 約1,9 kg

スピーカー部

スピーカー ……………… 中・高域用スピーカー(φ50mm) X2、サブウーファー(φ66mm) X1
実用最大出力 ……………… 5W X 2 + 10W

Bluetooth

バージョン ……………… Bluetooth標準規格Ver.2.1 + EDR
プロファイル ……………… A2DP / AVRCP
送信周波数帯 ……………… 2.4GHz帯

製品の仕様および外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承願います。

保証規定

1. お買い上げの日から1年以内に製造に起因する故障が発生した場合、修理または交換をさせていただきます。
2. 保証期間内でも次の場合は原則として費用をご負担いただきます。
・操作上の誤り、および弊社によらない修理や改造による故障および損傷
・火災、風水害、地震などの天災による故障および損傷
・お買い上げ後の輸送、落下などによる故障および損傷
・本製品以外の機器が原因となって生じた故障および損傷
・一般家庭用以外(業務用途など)での使用で生じた故障および損傷
・お買い上げ年月日、販売店名の記入、または領収書や納品書など保証開始時期を証明するものがない場合
・車両・船舶等に搭載された際に生じた故障および損傷
3. 保証の対象外
消耗・磨耗品は補償いたしかねますのでご了承ください。
4. 本保証規定は日本国内でのみ有効です。
※This warranty is valid only in Japan.

お買い上げ年月日、販売店が記載された領収書、納品書を必ず保管いただき、製品に添えて、弊社お客様相談室までご送付いただくか、お買い上げの販売店へご持参ください。

各部の名称

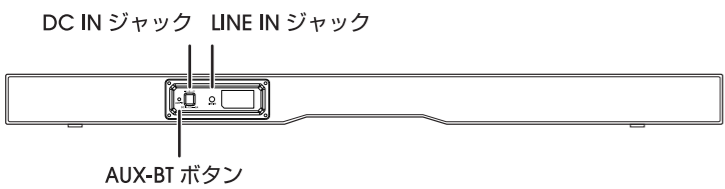
本体

正面

電源インジケーター
緑　点灯：電源ON
赤　点灯：電源OFF（スタンバイモード）
緑　点滅：消音、または、ボリューム調整中

サウンドモード
■ standard（消灯）
あらゆるタイプの音に幅広く対応します。
■ voice（緑 - 点灯）
セリフや歌声がクリアになり、聞き取りやすくなります。
■ cinema（赤 - 点灯）
迫力のあるサウンドで映画館にいるような臨場感を演出します。

Bluetooth インジケーター
青　早い点滅：Bluetoothモード。機器を検索しています。
青　ゆっくり点滅：接続完了。音楽再生の操作待ち、または、一時停止中。
青　点灯：音楽再生中。

背面

リモコン

電源ボタン
音量ボタン
消音ボタン
サウンドモードボタン
テレビボタン
テレビ音声入力に切り換えます。
音楽操作ボタン
⏮ 早戻し
⏯ 再生・一時停止
⏭ 早送り
※Bluetoothモード時に使用できます。
Bluetoothボタン
Bluetoothモードに切り換えます。
電池ホルダー（裏側）
※ご購入時は絶縁シートがセットされています。
シートを取り外してからご使用ください。

コイン電池の交換

1. 電池ホルダーを引き出します。
2. コイン電池CR2025の(＋)を上向きにして取り付けます。
3. 電池ホルダーを元に戻します。

テレビと接続する

・接続するときは、各機器の電源を切ってください。
・ACアダプターの電源プラグは、すべての接続が終わった後コンセントに接続してください。

Step 1 オーディオケーブルの一方の端を本体背面のLINE INジャックに挿入します。

Step 2 オーディオケーブルのもう一方の端をテレビの端子に挿入します。

テレビの音声は消してスピーカーだけの音声を出す時

・スピーカー出力切換機能によりテレビの音声をON/OFFできるテレビでは、スピーカーとテレビの両方から音声を出すこともできます。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご確認ください。

スピーカーとテレビの両方から音声を出す時

・テレビ側の「音声出力設定」を変更しないと音声が出力されない場合があります。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご確認ください。
・ご使用のテレビに音声出力端子がない場合はヘッドホン端子に接続してご使用ください。（左図参照）

Step 3 ACアダプターのDCプラグを本体背面のDC INジャックに挿入して、電源プラグをコンセントに接続します。

Step 4 テレビの電源を入れ、リモコンでお好みの音量と音質に調整します。

・本製品に付属のケーブルおよびACアダプター以外は使用しないでください。
・本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプターを抜いてください。
・入力信号がない状態が約5分間続くと、自動的に電源OFF（スタンバイモード）になります。
再び音声信号が入力される、または、リモコンの電源ボタンを押すと解除されます。

その他の機器と接続する

Bluetoothで接続して、ワイヤレスで音楽を聴く

本体の電源がOFFの場合は電源をONにしてください。

Step 1 リモコンのBluetoothボタンを押して、Bluetoothモードにします。本体のBluetoothインジケーターは早く点滅し、ペアリング待機の状態になります。

Step 2 Bluetooth対応機器のBluetoothリストから「Wood SoundBar」を選び、本体とBluetooth対応機器を接続します。
ペアリングが成功すると、ビープ音が鳴り、本体のBluetoothインジケーターはゆっくりの点滅に変わります。
Bluetooth対応機器により多少設定方法は異なりますので、詳しい手順はご使用の機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

Androidスマホの場合

1. アプリ管理画面やトップ画面から「設定」アイコンを選びます。
2. 「無線とネットワーク」の項目にある「Bluetooth」をタッチします。
3. 「OFF」の部分をタッチし、「ON」の状態にします。
4. 「Wood SoundBar」をタッチします。

iPhoneの場合

1. トップ画面にある「設定」アプリを起動させます。
2. 「Bluetooth」の設定部分をタッチします。
3. 「オフ」の部分をタッチ、または、スライドさせ「オン」にします。
4. 「Wood SoundBar」をタッチします。

Step 3 Bluetooth対応機器の音楽を再生します。Bluetoothインジケーターは点灯になります。
本体のBluetoothインジケーターが早く点滅している場合は、ペアリングが切れています。
STEP2から接続をやりなおしてください。

入力信号がない状態が約20分間続くと、自動的に電源OFF（スタンバイモード）になります。
再びBluetoothで音楽を聴く場合は、リモコンの電源ボタンを押し、Bluetoothボタンを押してください。

LINE INジャックで接続して、音楽を聴く

・接続するときは、各機器の電源を切ってください。
・ACアダプターはの電源プラグは、すべての接続が終わった後コンセントに接続してください。

Step 1 オーディオケーブルの一方の端を本体背面のLINE INジャックに挿入し、もう一方の端をスマートフォンやポータブルオーディオのLINE OUTジャックに挿入します。

Step 2 ACアダプターのDCプラグを本体背面のDC INジャックに挿入して、電源プラグをコンセントに接続します。

Step 3 オーディオ機器の音楽を再生します。